

経営比較分析表（令和6年度決算）

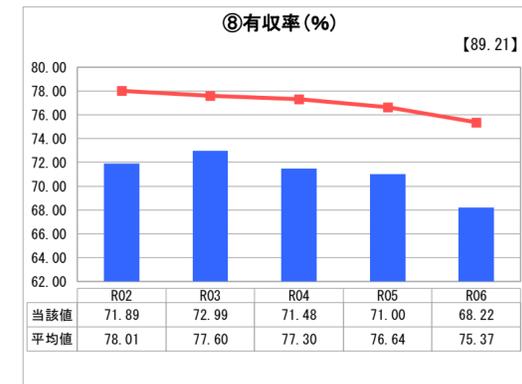
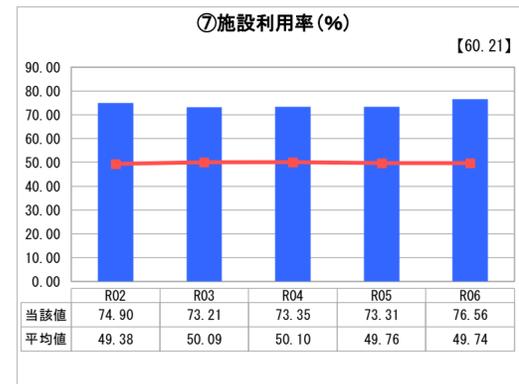
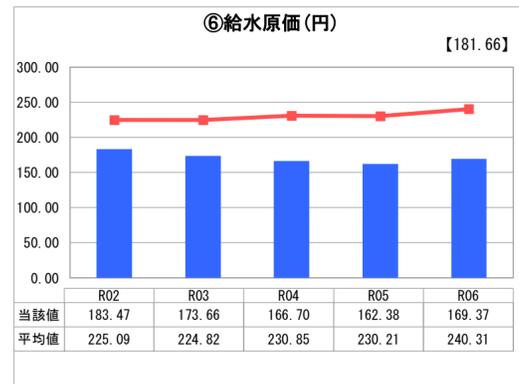
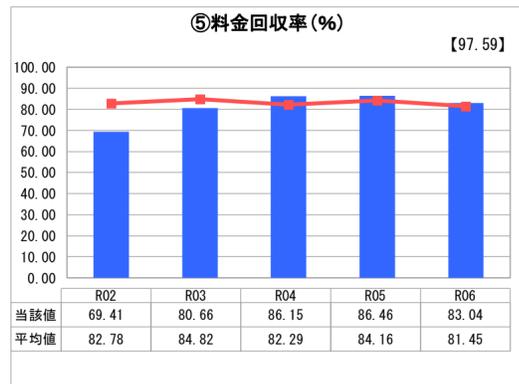
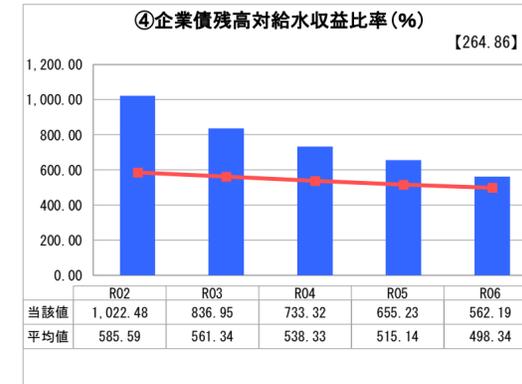
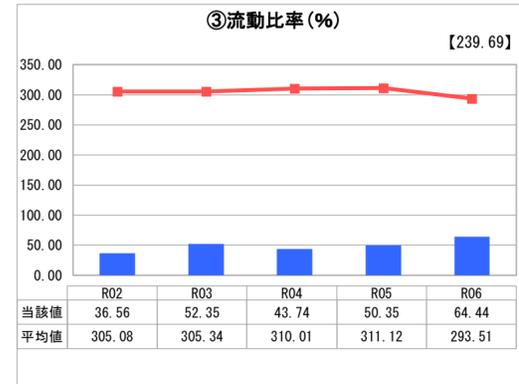
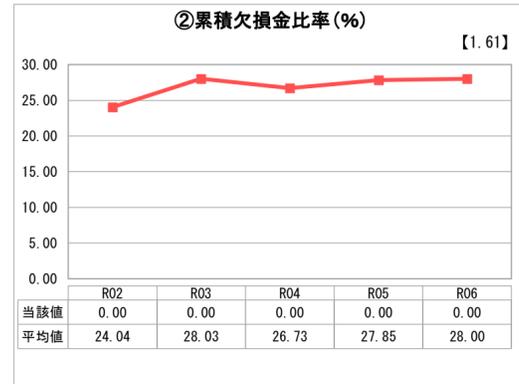
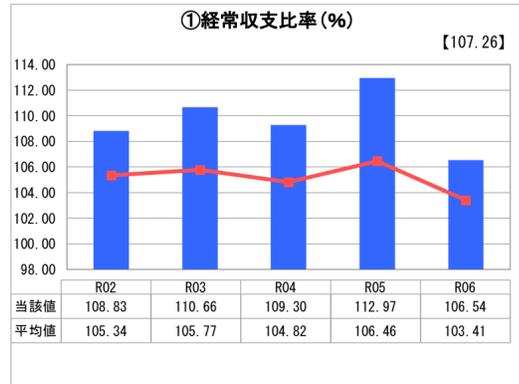
福井県 越前町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	65.68	48.80	2,860	

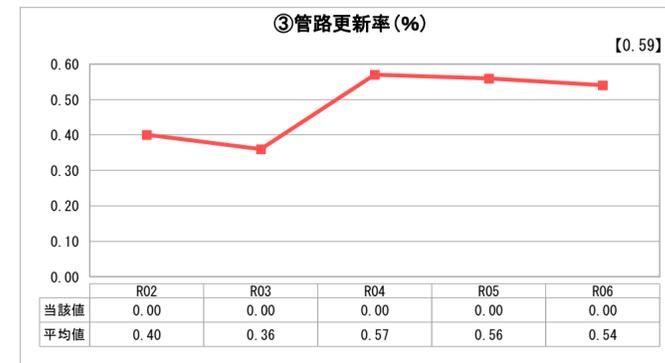
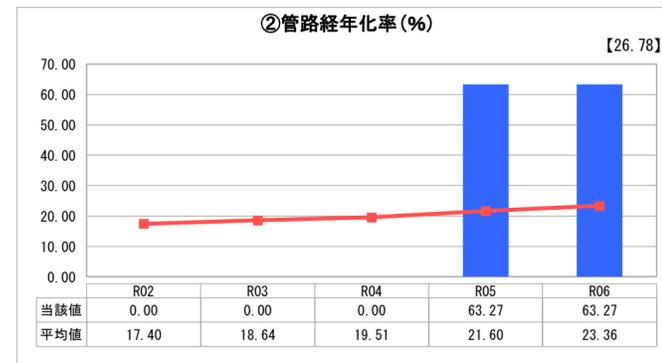
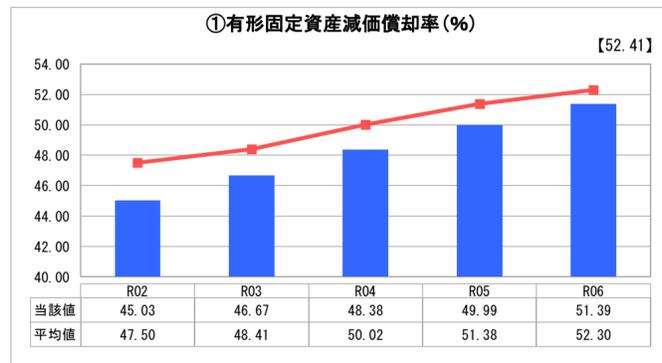
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,769	153.15	129.08
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,579	14.42	664.29

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、他会計負担金に依存しているために100%を上回っているものの減少傾向であるため、更なる費用削減などの経営改善を図っていく必要があります。

② 流動比率は減少傾向でしたが、令和4年度以降は微増傾向となっています。

③ 企業債残高対給水収益比率は減少傾向で、類似団体平均に近づいています。当町は、平成17年の町村合併から上水道区域の統合を行い事業は完了しており、今後も類似比率で推移していくものと考えられます。

④ 料金回収率は、令和4年度以降は同水準で推移しており、類似団体平均と同等となっています。今後も回収率が100%に近づけるよう改善していく必要があります。

⑤ 給水減価は、令和4年度以降は同水準で推移しており、類似団体を下回っています。今後は、投資の効率化や維持管理費の削減といった経営改善が必要となっています。

⑥ 施設利用率は、類似団体平均よりも高い数値で水位しています。

⑦ 有収率は、令和4年度以降減少傾向となっており、類似団体平均を下回っています。今後も引き続き、漏水の早期発見および修繕を行い、有収率の改善を図っていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々増加傾向であるが類似団体をわずかに下回っています。平成17年の町村合併に伴う上水道区域の統合事業を実施する際に、主要箇所の管路布設替は行ったものの、古いものでは昭和50年代の下水道工事と同時埋設した管路が残っているため、漏水の早期発見・修繕や管路更新を実施する必要があります。

また、浄水場・配水池は、高度経済成長期に整備されたものが多く老朽化が進んでおり、今後は施設の統廃合や更新・耐震化等による運営の効率化が求められています。

全体総括

当町の水道普及率はほぼ100%となっていますが、平成17年の町村合併から20年が経過した現在、施設の老朽化や人口の減少等を踏まえ、自主財源の確保や効率の良い事業運営が必要とされています。

令和5年度に策定した水道事業ビジョンに基づき、事業区域の再編、老朽化する施設・管路の計画的な更新・耐震化及び適切な料金体系の検討を令和6年度に改定した経営戦略により行っていきます。